

白山ろくテーマパークの平成26年度管理状況

施設所管課	土木部公園緑地課
指定管理者	(株) 岸グリーンサービス 代表者 岸 省三
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内などの接遇向上</p> <p>① 渉外担当者・DMによる営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係の遠足や団体、スポーツ施設に営業を掛け、利用促進に繋げた。 <p>② 魅力あるHPの宣伝、キャンプ場のHPによる予約システムの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内の四季の風景を随時ブログにて発信した。(吉岡園地) ・キャンプ場の予約がインターネットからの利用頻度が多くなった。(吉野園地) <p>ネット予約件数(H25:354件 H26:550件)</p> <p>③ ネイチャープログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ利用者に対するナイトプログラムとして、ホタル観察会、昆虫採集、竹キャンドルナイトに加えて、新たにロウソクランタン作りなどを実施した。(吉野園地) ・魅力的な自然体験教室、各コンサートを実施した。(吉岡園地) <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施(290件) ・ご意見箱の設置(1件) <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに花苗、花鉢の販売を実施することで、花の公園としてのイメージをつけ、季節に応じた花を提供することで、利用促進に繋がった。(吉岡園地) ・パークウェディング事業として、模擬挙式、記念撮影を実施し、新たな公園の魅力を引き出した。(吉岡園地) ・常に利用者が清潔な状態で利用出来る様、清掃作業を徹底し年間を通して清潔感を維持した。(吉野園地) ・夏休みの親子イベントとして、これまでの昆虫採取に加え、夜のイベントとしてロウソクランタン作りやロウソクを囲んでのゲームなど、新たな夏休みイベントを企画・実施しました。(吉野園地)

利用の促進に関する業務

自主事業の企画・実施

(吉岡園地)

- ・ フラワーアレンジメント教室(3回) (参加人数 34人)
- ・ はるかぜコンサート (参加人数 50人) (新規)
- ・ 草木染め教室(3回) (参加人数 47人)
- ・ ネイチャースクール 2014 (参加人数 13人)
- ・ キャンドルナイトコンサート (参加人数 200人)
- ・ 美由紀座太鼓発表会 (参加人数 200人) (新規)
- ・ 満月コンサート (参加人数 500人)
- ・ たった一つの結婚式 (参加人数 150人) (新規)
- ・ 軽トラ市 (参加人数 800人) (新規)
- ・ クリスマスリース作り (参加人数 6人)
- ・ クリスマスコンサート (参加人数 50人)
- ・ カフェ販売
- ・ 花のしおりプレゼント
- ・ 花苗販売 (新規)

(吉野園地)

- ・ 林観察会 (参加人数 55人)
- ・ 河川敷水遊び (参加人数 50人)
- ・ 川魚掴み取り (参加人数 900人)
- ・ 地物野菜販売 (参加人数 30人)
- ・ ネイチャープログラム (参加人数 500人)
- ・ キャンプ場団体の利用促進 (参加人数 80人)

施設の情報提供、広報、広告

- ・ HPを更新、ブログやフェイスブックにて発信
- ・ HPからキャンプ場の予約システムを導入によりネット予約増加
- ・ 教育施設、昨年度利用者にDM配布(H25: 650件→H26: 1000件)
- ・ 4月～10月の期間4回リーフレットに掲載

周辺地域、関係機関との連携・協力の推進

(吉岡園地)

- ・ ふじ祭りにて苗木の販売出店、花苗販売を行いふじ祭りを盛り上げ、さらにプログラムを実施した。
- ・ 河内公民館との連携による文化祭に於いて、コーヒーの出店、イベント景品材提供等の協力を行い地元地域住民と一体で文化祭を盛り上げた。
- ・ 今年度から軽トラ市が当施設での開催になり、地元の野菜や特産物など出店され、HP、チラシにより宣伝を行い利用者増加に繋がった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度より引き続き関西学院大学とのタイアップを行い、「ジオパーク企画、オキナグサ保護企画」をテーマとし、実習・発表を行った。 ・昨年同様 地元野菜生産者との連携による農産物販売サービスを行い利用者の好評を得た。 <p>(吉野園地)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様 地元野菜生産者との連携による農産物販売サービスを行い利用者の好評を得た。 ・キャンピングカーの団体に営業を掛け、閑散期に利用してもらい利用の幅が広がった。 ・地元肉業者と提携し、バーベキューの食材ケイタリングを導入したことにより、ケイタリングを利用したのバーベキュー利用者が増加した。 ・白山アドベンチャークラブと連携をとり、ボート川下り・川遊びをPRすることができ、来年度はさらなる利用者が見込めるようにしていく。 ・北陸朝日放送のBBQ企画にて、BBQ大会を開催しテレビCM、チラシの宣伝にて 利用者の増加に繋がった。
<p>使用の許可に関する業務</p>	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用許可の件数（2（2）参照） ・使用料の収入実績（2（3）参照）
<p>施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務</p>	<p>清掃：（吉岡）公園センター、屋外トイレ（1回/日） （吉野）トイレ2棟、バーベキューサイト（使用前後）</p> <p>保守点検：浄化槽、消防設備（法定回数）、電気、給水設備</p> <p>警備：巡回1回/日（積雪時除く） 10～12月は3回/日（クマ出没対策）</p> <p>小規模修繕：調整池噴水修繕、便器部品取替、障害者駐車場屋根修理、トイレ蛍光灯取替、散水栓部品取替、雨漏り修繕、室内機フィルター清掃（吉岡） ：管理棟屋根修繕、排水ポンプ部品取替、トイレ部品取替、シャワー修繕（吉野）</p>
<p>（その他知事が必要と認める業務）</p>	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアル、連絡体制の策定、職員への教育 <p>個人情報管理状況</p>

2 施設の利用状況

(1) 利用指標

指標	H 2 5 年度 (参考)	H 2 6 年度	前年度比	増減理由
吉岡園地	38,577	37,122	96%	・広報、営業による宣伝効果 ・イベントによる増加 ・DM 効果
オートサイト	2,407	3,415	142%	
グリーンサイト	2,673	3,344	125%	
BBQ サイト	5,759	7,644	133%	
合計	49,416	51,525	104%	

(2) 使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

(円)

	収入額	減免額	減免理由
オートサイト	3,206,000		
グリーンサイト	1,252,000		
BBQ サイト	1,952,000		
温水シャワー	173,000		
合計	6,583,000		

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	31,886	人件費	7,979
利用料収入	6,583	光熱水費	2,801
自主事業収入(吉岡)	2,292	修繕費	607
自主事業収入(吉野)	1,471	緑地等施設管理費	18,930
その他	524	その他	12,066
合計	42,756	合計	42,383
収支差額	373		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

① 利用者の意見等

ア 利用者アンケート結果（平成26年4月～平成27年3月実施 有効回答数290件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	89.0%	10.3%	0.7%	0.0%
施設の維持管理	89.0%	10.7%	0.3%	0.0%

イ 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成26年4月	花苗の販売をしてほしい。	5月より花苗、花鉢販売実施した。
平成26年6月	フリーサイトの場所がわかりにくい。	サイトの看板を新しくし、場所がわかるようにした。

② 事故、故障等

年月	内容	対応
平成26年12月	地盤崩れにより、境界柵が倒れている。	修繕工事により、境界柵を起こした。
平成27年2月	公園センター天井より雨漏りしていた。	早急に雨漏りを修繕した。
平成26年4月～11月	シャワーユニットのシステムがわかりにくい。	随時点検、スタッフの説明により対応した。
平成26年4月～11月	遊具のみの利用者が多いため駐車場が不足している。	園内に駐車スペースを作り対応した。

③ その他報告事項など

--

(7) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、人、学びをテーマにし、魅力的な自主事業を積極的に行っている。結果的に園内全体の利用者数が増加した。 ・周辺施設との連携や広報宣伝により、利用促進につながっている。 ・利用者からの意見・要望に迅速に対応し、サービス維持・向上に努めている ・地元団体、企業、大学などと連携をとり、イベントや自然保護などの取組みが積極的に行われ、公園内で地域の活性化が図られている。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内は常に清潔に保たれており、仕様書等に基づき適切な管理がなされている。 ・指定管理者が自主的に管理棟屋根の補修など、小規模な修繕を行っている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な職員の配置がなされており、業務に関する講習が十分なされている。 ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的にあった管理運営がなされており、適切な維持管理、魅力的な自主事業を計画し、利用促進につながっている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

(8) 助言・指摘事項

- ・新たな自主事業の展開により、利用者の増加を促すこと。
- ・日常点検を入念に行い、ハチ等の安全対策に留意すること。